

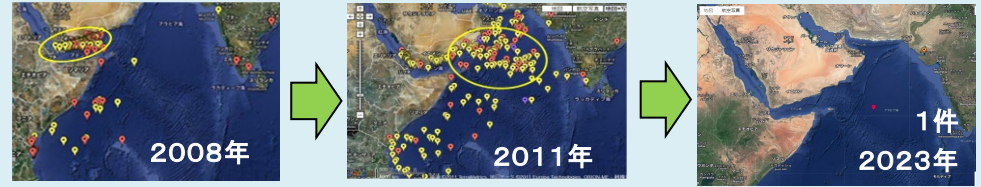
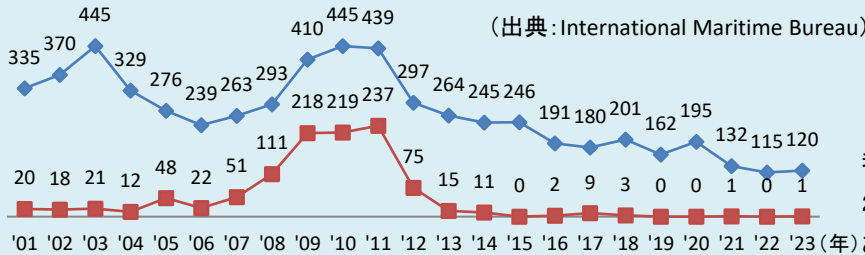
「2023年 海賊対処レポート」のポイント

2024年3月 内閣官房

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処について、我が国では、自衛隊部隊の派遣をはじめ、国際社会と協力して様々な取組を行っています。

2023年のソマリア沖・アデン湾の海賊の動向や我が国の取組とその成果等とをとりまとめました。

海賊の現状 ◆ 全世界 ◆ ソマリア沖・アデン湾及びその周辺の海賊等事案数



我が国を含む国際社会の取組により、海賊等事案の発生件数は近年低調なまま推移していましたが、2023年12月には2017年以来となる商船のハイジャック事案が発生するなど、ソマリア沖・アデン湾におけるソマリア海賊事案については、依然予断を許さない状況です。

ソマリア沖・アデン湾の海賊に対する我が国の取組

2009年6月、「海賊行為の処罰及び海賊行為への対処に関する法律」が成立し、同年7月から同法に基づく海賊対処行動として、自衛隊の部隊が、ソマリア沖・アデン湾において海賊行為に対処するための護衛活動及び警戒監視活動を行っています。



2023年の活動実績

○護衛艦による護衛活動
護衛回数: 5回 護衛隻数: 5隻
OP-3C哨戒機による監視活動
飛行回数: 186回
飛行時間: 約1,230時間
確認した商船数: 20,832隻
情報提供回数: 375回

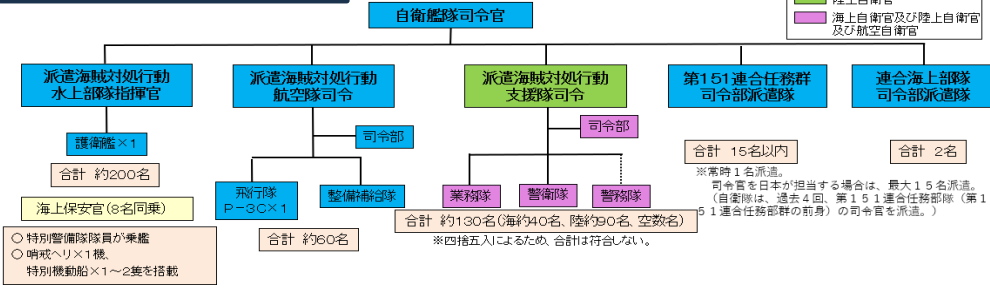


海賊対処部隊による対応事例

2023年11月26日、イギリスの会社が運航するリベリア船籍タンカー「CENTRAL PARK (セントラルパーク)」がアデン湾において何者かに乗っ取られたとの情報を受け、海賊対処部隊の海自P-3C及び護衛艦「あけぼの」が現場に急行しました。「あけぼの」は、米軍艦艇「メイソン」及び韓国軍艦艇「ヤン・マンチュン」と共に警戒監視・情報収集を行いつつ、海賊対処を任務とする第151連合任務群に対し現場で得た情報を迅速に提供する等の対応を実施しました。



派遣海賊対処行動部隊の体制



海上保安庁による法執行向上能力支援

